総合学科の取り組み紹介

産業社会と人間　　**テーマ**　「自分史」をつくろう　R5.5.19

今回の産業社会と人間の授業は、「自分史」をつくろうというテーマです。前回の授業では、「自分って、なんだろう？」というテーマで、自分自身の性格や他人から見た自分はどんな印象なのかを聞いたりした時間でした。今日は、生まれてから今日までの人生を振り返り、どんな人との関り、またその時何を感じていたのかを振り返る授業です。

２０２０年文部科学省は、キャリア・パスポートという小学生から高校卒業までの歩みを記録に残すようにしました。その内容は下記の通りです。

【キャリア・パスポートとは】

人は、他者や社会のとのかかわりの中で、職業人、家庭人、地域社会の一員等、様々な役割を担いながら生きています。これらの役割は、生涯という時間的な流れの中で変化しつつ積み重なり、つながっていくものです。また、このような役割の中には、所属する集団や組織から与えられたものや日常生活の中で特に意識せず習慣的に行っているものもありますが、人はこれらを含めた様々な役割の関係や価値を自ら判断し、取捨選択や創造を積み重ねながら取り組んでいます。

人は、このような自分の役割を果たして活動すること、つまり「働くこと」を通して、人や社会にかかわることになり、そのかかわり方の違いが「自分らしい生き方」となっていくものです。

このように、人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ねが、「キャリア」の意味するところです。

今日の授業はどうでしたか、１５年の人生を振り返ることで、忘れかけていた人や、将来の夢や目標を思い出すきっかけになりましたか。人と関わることは、良いこともあればつらいことや悲しいこともあるでしょう。それを一つ一つ乗り越えて「自分」という人間を自分自身が成長させているのです。

高校生活は始まったばかりです。多くの人との出会いや様々な経験を通して、自分自身を成長させてください。

担当　川瀬ちさ紀